

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	第5回 日本褥瘡学会実態調査
研究期間	2021年 9月 2日 ～ 2023年 3月 31日
対象患者	褥瘡、医療関連機器圧迫創傷を有する全入院患者さん
対象期間	2021年 10月 20日
研究機関の名称	一般社団法人 日本褥瘡学会
実施診療科	皮膚科
研究責任者	辻野 佳雄
意義・目的	日本褥瘡学会の実態調査委員会では、全国の病院、介護保険施設、在宅（訪問看護ステーション）を対象に第1回～第4回の調査を実施し、療養別の褥瘡有病率や有病者の特徴などを明らかにし、褥瘡の実態や経年的な推移について日本褥瘡学会誌に報告しました。今回の研究は、その後の褥瘡の実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的なデータを得ることを目的とします。
研究の方法 (試料・情報の利用方法・他施設への提供方法を含む)	病院、介護保険施設、訪問看護ステーション（在宅）において褥瘡保有者の横断調査を実施します。調査は原則として、日本褥瘡学会のホームページに掲載された日本褥瘡学会実態調査システムに基づくWeb調査を行い、施設情報、患者情報について記入し、研究事務局に送付します。送付するデータは匿名化され、患者さん個人が特定されるようなことはありません。収集されたデータを記述統計により分析します。
利用・提供する試料・情報の項目	疾患名、年齢、性別、健康障害のレベル、日常生活自立度、要介護度、褥瘡部位、褥瘡が発生した場所、褥瘡の病変の状態、使用している体圧分散寝具・用具、体位変換時間、栄養状態、局所治療計画、褥瘡対策危険因子、褥瘡ハイリスクのカテゴリー、発生要因、転帰 等
試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 <input checked="" type="checkbox"/> あり・なし (ありの場合、海外の施設への提供 <input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	日本褥瘡学会学術集会、日本褥瘡学会誌
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

皮膚科 辻野 佳雄

電話：0853 - 22 - 5111
